東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月11日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の 不具合が対象になります。

2021年3月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【物揚場排水路の簡易放射線モニタの不具合について】 当直員が、物揚場排水路の簡易放射線モニタに放射能濃度「高」および「高高」警報の発生を確認。 2月4日に発生したA排水路の簡易放射線モニタと同様に、計数データが1分値から10秒値に変わっていることから、 機器異常と判断した。 原因は、物揚場排水路用パソコンおよびCドライブの空き容量不足によりパソコン動作が全体的に重くなり、積算計数 がリセットされていないことと推定。 物揚場排水路に滞留していた水の放射能分析を実施し有意な変動がないことを確認。 また、3月2日の放射能濃度「高」警報発生以降、物揚場排水路のゲートを閉めていたため、構外への流出はなし。 対策として、物揚場排水路用パソコンのソフトウェア改修作業を実施。 今後、同機種の他排水路の簡易放射線モニタについて、各排水路用パソコンのソフトウェアの改修作業を実施予定。	GШ	3月5日
2	【5号機復水脱塩装置用薬液抜き取り作業での協力企業作業員の負傷について】 5号機屋外の硫酸タンク近傍で、復水脱塩装置用薬液抜き取り業務に従事していた協力企業作業員2名が、硫酸配 管切断時に硫酸が飛散し化学火傷した。 硫酸配管切断箇所を養生して作業を行っていたが、配管に内圧があることを感じたため、圧が抜けるのを待ち、作業 を再開しようとしたところ、養生が外れ硫酸配管の内圧により、硫酸が霧状に飛散したことと推定。 今後、原因の深堀りと再発防止対策を検討予定。	GⅢ	3月9日
3	【共用プール建屋片付け作業での半面マスク右側フィルタの脱落について】 協力企業作業員が、共用プール建屋片付け作業に従事している放射線管理員の半面マスク右側フィルタが外れていることを確認。 現場入域時に半面マスクの両側フィルタが装着されていたことを確認しており、共用プール建屋内での作業中に、右側フィルタが外れていることを確認したため、その間でフィルタが外れたと推定。 速やかに装備交換所へ移動し、汚染検査をし、顔面汚染および内部取り込みは確認されなかった。 今後、原因調査および対策を検討。	GⅢ	3月9日